

# いばらきひろばトーク

## ～場の活用によるまちづくり勉強会～

### 第4回：まちの魅力を継続させる仕組みについて考えてみよう

今年度の「次なる茨木・クラウドプロジェクト」では、まちなかの拠点をつなぎ、中心市街地全体へ広げ、拠点間を賑わいの線でつないでいくことを目指して、まちなかにある活用できそうな空間やそれを使った賑わいやつながりを生む仕掛けについて考えて取り組んでいます。

今回はまちなかの空間活用を継続的に進めるための運営等に関わる専門家をお招きし、勉強会を開催します。



#### プログラム

##### ●キートーク

講師

**内川 亜紀氏** 札幌駅前通まちづくり株式会社統括マネージャー

#### 「まちの魅力を継続させる仕組みについて」

まちなかの空間活用を継続的に進めるための運営等を実践している立場から、その取り組みの内容などをお話いただけます。

##### ●トークセッション

#### 「まちなかでの継続する活動の展開とまちの魅力につなげていくための仕掛けや秘訣について」

キートークの内容を受けて、まちなかの広場などを使って、まちの魅力を継続させていくための重要な仕掛けや秘訣などについて、内川さん、会場の皆さんと一緒に考えていきます。

コーディネーター

**山下裕子氏** (ひと・ネットワーククリエイター／広場ニスト)

#### 講師プロフィール



**内川 亜紀氏**

(うちかわあき)

札幌駅前通まちづくり株式会社  
統括マネージャー

茨城県生まれ。歴史的建造物の保存・活用に関する調査活動などを行ったのち、石塚計画デザイン事務所を経て、2010年9月、「札幌駅前通まちづくり株式会社」設立時より勤務。

札幌駅前通地下広場及び札幌市北3条広場といった公共空間の運営を行うとともに、札幌駅前通地区のエリアマネジメントに携わる。一級建築士。

参加費無料 (参加申込はチラシの裏面をご覧ください)

日時 令和2年2月20日(木)

時間 18:30～20:30  
(開場・受付開始は18:00～)

場所 男女共生センターローズ WAM 5階  
研修室 501・502

定員 先着50名程度

主催 茨木市

次なる  
茨木へ。

茨木には、次がある。

#### コーディネータープロフィール



**山下裕子氏**

(やましたゆうこ)

ひと・ネットワーククリエイター／広場ニスト

1974年生まれ。全国まちなか広場研究会理事、NPO法人GPネットワーク理事。富山に移住し、演劇やアート関連イベントの企画制作に携わる。2007年よりグランドプラザ運営事務所勤務。2010年より(株)まちづくりとやまグランドプラザ担当。2011年よりNPO法人GPネットワーク理事。2014年よりまちなか広場研究所として独立。その後、八戸・豊田・泉北・神戸・明石・久留米をはじめとする全国のまちなか広場づくりに関わる。著書に『にぎわいの場 富山グランドプラザ一稼働率100%の公共空間のつくり方』。

## 今後の予定

- 勉強会と並行して実施した、まちなかの空間・スポットを使った社会実験を振り返るワークショップを開催いたします。
- 下記のスケジュールは予定ですので、変更になる可能性があります。予めご了承ください。

### ◎ 勉強会 【定員は先着 50 名程度】

#### まちなか活用の導入編

#### 「まちなかの空間を使った賑わい・つながりのつくり方」

今年度の「次なる茨木・クラウドプロジェクト」では、まちなかの拠点をつなぎ、中心市街地全体へ広げ、拠点間を賑わいの線でつないでいくことを目指して、まちなかにある活用できそうな空間やそれを使った賑わいやつながりを生む仕掛けについて考えていきます。第 1 回目として、広場ニストの山下裕子さん、コミュニティワーカーの西川正さんを講師にお招きし、まちなかの空間を使った賑わいやつながりづくりについてのお話しをおきました。

第 1 回 (開催済)

7/15

#### 空間利用の視点から

#### 「豊かな暮らしをつくるまちの空間について考えよう」

私たちの暮らしを豊かにするために、広場や公園など身近な空間を使った様々な取組みをまちなかに広げ、日常の豊かな暮らしをつくる場面を増やす仕掛けなどについて、各地の様々な取り組みや実践に関わる大阪府立大学大学院武田重昭先生にお話しいただきました。また、並行して検討中の社会実験 (IBALAB plus) のプロジェクトメンバーとの意見交換を通して、茨木のまちなかで取り組むに当たってのポイントなどを考えました。

第 2 回 (開催済)

10/6

#### 歩行者の視点から

#### 「『人』中心のまちなか空間について考えよう」

日本の各地で道路空間も活用しながら人のための空間にしようという動きが活発になってきています。第 3 回では、各地で道路空間を人のための空間づくりに転換する取り組みに関わる専門家をお呼びし、人の豊かな暮らしをつくる空間としての道路空間づくりについて、歩行者の立場から考えました。

第 3 回 (開催済)

11/28

### ◎ 社会実験に向けたワークショップ

8 月からスタートしたワークショップでは、まち歩きを行い、まちなかの使えると面白い空間・スポットを探し、魅力的にするための様々なアイデアを話し合いながら、社会実験の企画を考えてきました。



### ◎ IBALAB plus ～ “実際にやってみる” 社会実験～

社会実験では、市民の皆さんが考えた 8 つの企画を社会実験の期間中 (令和元年 11 月 8 日～ 24 日の 17 日間) に様々なまちなかの空間・スポットで実施しました。



### ◎ 社会実験を振り返るワークショップ

社会実験を終えて、空間活用にあたっての課題や良かった点など、取組みを通しての気づきを話し合います。

**日時** 令和 2 年 1 月 26 日 (日) 14 時～

**場所** 男女共生センターローズ WAM 5 階 研修室 501・502

## 参加するには？

以下の内容をメール・電話・持参、もしくは市のホームページにてお申込みください。

[2 月 13 日 (木) 締切]

<https://www.city.ibaraki.osaka.jp/kikou/kikaku/kikaku/menu/tsugiibacloud/ibarakihirobataalk/46130.html>



お名前	ふりがな	ご連絡先 (電話・ メールアドレス)
ご住所	一時保育希望 (満 1 歳以上) ※一時保育の受付は 2 月 6 日 (木) まで	希望する ・ 希望しない ( ) 名

\* 勉強会・ワークショップの様子を撮影 (動画または写真) したものは、市の刊行物 (広報誌・ホームページ等)、市の資料 (報告書・冊子等)、その他 (報道提供・出版物・ポスター等) に使用することがあります。

【問い合わせ先・申込み先】 茨木市 企画財政部 政策企画課 (担当: 坂根) 茨木市役所 本館 3 階

TEL: 072-620-1605 FAX: 072-623-3025 E-mail: kikaku@city.ibaraki.lg.jp